



令和3年2月17日発行

第 114 号

事務局 〒161-0033 東京都新宿区下落合
1-3-16ジョリーメゾンヌベル下落合205号
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
<http://www.seishineisei.gr.jp/>

〈目 次〉

日本精神衛生学会第36回大会を終えて……………1

日本精神衛生学会第37回大会のご案内……………2

日本精神衛生学会第36回大会を思い返して……………2

大会に参加して……………3

事務局移転のお知らせ……………4

日本精神衛生学会第 36 回大会を終えて

日本精神衛生学会第 36 回大会長 浮田 徹嗣(横浜市立大学)

新型コロナウイルスの感染拡大の中、2020年11月7日、8日と第36回大会を無事に開催することができた。これはひとえに影山理事長、中野事務局長、高下副大会長、黒岩実行委員長並びに実行委員メンバーの獅子奮迅のご尽力のおかげである。私は「第36回大会を終えて」というコメントを書くとしたら「無事に開催することができた」といったフレーズは使わないようにしようと考えていた。どういう点でどのような成果があり、どのような反省点があるのかを明確にして建設的なことを述べたいと思っていたのである。

しかし現在の心境としては無事に終わって良かったという気持ちでいっぱいである。もちろん反省点はある、大会長である私に手ばかりが多く他のスタッフの方々に迷惑をかけてばかりいたが(詳しいことはここでは触れない)、それらを補って余りある、他の皆様の労力に感謝するしかない。

最初に書いたように「感染拡大の中」ということで第36回大会はWeb上の開催となった(準備の当初は横浜市立大学金沢八景キャンパスでの開催を念頭に置いていたが、途中からWeb上の開催もあり得るかもしれないという認識となり、夏にはWeb上の開催しかないと決断した。こうしたスタッフによる打ち合わせも、横浜市立大学の会場下見の時を除いてzoom会議でおこなった)。IT弱者の私はうろたえるばかりであったが、2020年秋におこなわれた学会の多くがIT専門家の助力を要請したという情報もある中で、我々の学会はすべて学会メンバーの手で開催できたことは素晴らしいことだと思う。

学会の企画としては「新型コロナウイルスの問題が私たちの心にもたらしていること」などタイムリーなプログラムが多く、有意義な大会をおこなうことができたことを感謝したい。

日本精神衛生学会第 37 回大会のご案内

大会テーマ	『豊かな虚の世界を求めて』
日 程	2021 年 12 月 4 日(土)・5 日(日)
大 会 長	水口 進(常盤大学／茨城県水戸市)
実行委員長	下山田 理絵(常磐大学)
開催形式	Web 開催(予定)

大会の詳細が決まり次第ニュースレター等を通じてお知らせいたします。

日本精神衛生学会第 36 回大会を思い返して

日本精神衛生学会第 36 回大会実行委員 永井 尚志(明星大学)

2020 年 11 月 7 日、8 日に日本精神衛生学会第 36 回大会が Web 上で開催されました。初めての Web 開催であり、大会の準備を始めた頃はどれだけの方に参加して頂けるのか全く予想が付きませんでしたが、その後 200 名を超える方からの参加申し込みがありました。改めて御礼申し上げます。

私は大会実行委員として受付や司会、懇親会の企画等を担当しました。日本精神衛生学会大会の懇親会に参加した経験があったので、担当を引き受けた当初は「大会の雰囲気も懇親会の雰囲気も覚えているから何とかなるだろう。」と軽い気持ちでいました。

5 月某日、初めてのオンライン会議が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止を考え、Web 開催の可能性が出てきました。その後もオンライン会議を重ね、正式に Web 開催が決定するころには「オンラインで懇親会(Web 開催に伴って「オンライン交流会」と名前を変更しました)？何をすればいいんだ？」と、当初抱いていた甘い考えは吹き飛ばされ「ああ、大変な仕事を引き受けてしまった…。」という思いに塗り替えられました。先の見えない不安で重い気持ちになっていましたが、大会実行委員長である黒岩誠先生から「初めてのことなんだ、失敗があっても当然。だからこそ思い切って挑戦してみよう。」との後押しを受け、思うようにやってみようとは何とか開き直ることが出来ました。

いざ Web 大会の準備を進めていくと、いくつもの検討事項が生まれました。Zoom を使うにあたってアカウントはどうするのか？Zoom の設定は？パソコンの性能は十分なのか？大会当日に実行委員が集まる場所は？少しでも不便なく Web 大会に参加して頂くためには何が必要か？などなど、大会が近づくにつれて増えていく検討事項を一つずつ解消していくことに追われ、気が付けば大会を目前に控えていました。準備は足りているのか？見落としていることはないかと、ただただ不安が膨らんでいきました。しかし、そういった不安とは裏腹に Web 開催という見えない場所に多くの人が集まり、大会が開催される状況に実感が生まれてこない不思議な心境で大会当日を迎えました。

大会が始まると、今まではぼんやりとしていた実感が急速に確かさを帯びていきました。自分のパソコンに表示される参加者の名前が続々と増えていく様子を見て、顔は見えず、声も聞こえない、でも確かにこのパソコンを通じて多くの方とつながっていることが感じられました。そして、初めてのオンライン交流会にも多くの方にご参加いただき、会の最後には全体で記念写真を撮ることも出来ました。私は心のどこかで、オンライン上で誰かとつながることには限界があり、オンラインでのやり取りは直接触れ合うことが出来ないための妥協案でしかないだろう、といったどこかひねくれた思いを抱えていました。しかし、この Web 大会を通じて「限界を承知の上で、それでも触れ合おうとする心のあたたかさ、得られないものを思い合えるつながりの力強さ」を教えてくださいました。

最後に、大会中の機材トラブルや不手際等がありましたが、それらを温かく見守ってくださった皆様に改めて感謝申し上げます。次回 37 回大会は、常磐大学(水口進大会長)で開催される予定です。新型コロナウイルスの影響がありますので、常磐大学でお会いできるのか、それともパソコンの画面越しにお会いできるのかはまだわかりませんが、今年も皆様とお会いできることを楽しみにしております。

大会に参加して

杉山 惣一(常磐大学大学院修士課程2年)

2020 年 11 月 7 日(土)・8 日(日)の両日、日本精神衛生学会第 36 回大会が開催されました。大会長は横浜市立大学の浮田徹嗣先生、大会テーマは「混沌の時代をどう生きるか—AI の進歩と精神保健」であり、今年度はコロナ禍での Web 開催となりました。

私は、学会で発表するのが初めてでしたので、Web 開催となって皆さんの前で発表する形ではなくなり、ちょっとほっとしたような、それでいて残念な気持ちでもありました。

大会プログラムは、いずれも現下の身近な問題をタイムリーに捉えたテーマばかりで、私にとってとても興味深い内容でした。その中で、私は 1 日目に大会長講演とその後の自主シンポジウム「人と人のかかわりがつなぐ社会への架け橋」、オンライン交流会に参加させていただきました。また、2 日目は午前中に「コロナ禍における大学生を対象とした新たな談話室支援の試み」、午後は『新型コロナウイルス問題』がわたしたちの心にもたらしていること」と、コロナ禍の問題を通して見えてくる支援のあり方や心の健康について学ばせていただきました。

セッションでは、コロナ禍で多くの学生が「うまくいっていないのは自分だけなのではないか」という不安を抱えていること、そして「オンラインであっても不安を他学生と共有する場があることが学生にとって支えになる」とのお話がありました。私は、会社定年後に改めて学生生活に入っており入学当初は不安だらけでしたが、そんな私も先輩や同級生の皆さん、そして先生方や事務の方々にいろいろ親切に教えていただき繋がっていく中で、久しぶりの学生生活を何とか送ることができたように思います。また、今年1年はオンライン授業で思うように PC 操作もできず慌ててしまったりすることもありましたし、一人でいると誰にどう聞いていいかもわからず不安になったことも度々でしたので、私自身の体験と重ね合わせて実感を持って聞かせていただきました。

あたり前の日常が脅かされる、そうなるであろうことがそうならないことからくるストレスは大きいと感じましたし、そのような状況にあって、これらの問題を学会で取り上げていただくことで、“同じように不安を抱えているんだなあ”と共感が持てたことは、とても有り難いことだと感じた次第です。“自分だけじゃないんだ”という気持ちの共有がとても大切だと。

一方、オンライン交流会では著名な先生方とご一緒させていただきました。私は、緊張して何をどのように話したかは覚えていませんが、私のような初学者も先生方と同じテーブルで話す機会をいただき、お酒は入りませんでしたが緊張しながらも楽しい一時を過ごすことができたのは、いい思い出になりました。また、浮田先生がご挨拶の中で、Web 開催となりご苦勞をされたこと、事務局スタッフの皆さんのおかげで無事に開催にこぎつけたことに何度も触れていらした姿が印象的でした。大会関係の多くの皆さんのご苦勞があつてはじめて、このような大会が開催されているということを改めて実感しました。大会関係の皆様、大変お疲れさまでした。感謝、感謝です。

次回の第 37 回大会は、私たちが学ぶ茨城県水戸市の常磐大学で開催されます。水戸と言えば水戸黄門、納豆などで知られていますが、大学キャンパスは、徳川斉昭が「領内の民と偕(とも)に楽しむ場にしたい」と願いを込めて造園した日本三名園の一つ、偕楽園からほど近い場所にあります。学会開催の時期には、コロナ禍も収まりをみせ以前のような日常の落ち着きを取り戻し、皆さんが挙ってここ常磐大学を訪れてくださることを祈念し、本大会に参加しての感想といたします。有難うございました。

事務局移転のお知らせ

※2021 年 1 月に下記住所に移転いたしました。

〒161-0033

東京都新宿区下落合 1-3-16 ジョリーメゾンヌベル下落合 205 号

Tel. 03-6457-3921 Fax. 03-6457-3921

- JR 山手線線高田馬場駅下車、徒歩 5 分
- 地下鉄東西線高田馬場駅下車、徒歩 5 分